



# 「情報通信ネットワーク構築の スペシャリスト」を目指して (新入社員研修始まる!)

訓練部

## 1. はじめに

平成24年度の新入社員（基礎訓練）研修がスタートしました。

今年度は、会員会社（協力会社含む）の約390名が情報通信エンジニアリング協会の東日本研修センター、西日本研修センターで受講していただいています。

新入社員研修（基礎訓練）は、技術分野ごとの線路科、土木科、所内科、電力科と技術系総合職を対象とした統合科（所内外）の合計5科班の実施を計画しています。

ここでは、新入社員研修（基礎訓練）の模様についてご紹介します。

## 2. 平成24年度基礎訓練

東日本研修センターでは、4月に第1回基礎訓練線路科、5月に第2回基礎訓練線路科、第1回基礎訓練土木科、第1回基礎訓練所内科、第1回基礎訓練統合科を開催し、7月開始の第1回基礎訓練電力科まで合計

5科班9コース（下表参照）を計画し、研修受講者は総勢約300名が受講し7月末に修了する予定です。

なお、平成23年度に引き続き、研修受講機会の増大と研修にかかわるコスト低減を狙った北海道エリアの会員会社新入社員を対象とした基礎訓練線路科（北海道張出）訓練には25名が受講されました。

西日本研修センターでは、4月に第1回基礎訓練線路科、5月に第1回基礎訓練土木科、第1回基礎訓練統合科を開催し、6月の第1回基礎訓練所内科、第2回基礎訓練線路科まで合計4科班5コース（下表参照）を計画し研修受講者は総勢約90名が受講し6月末に修了しました。

## 3. 研修センターでの訓練模様

東日本研修センター、西日本研修センターともに4月10日の基礎訓練線路科が新入社員研修の皮切りでした。東日本研修センターの開講式では

所長から訓練生への“お客様満足向上の取組み”の重要性についてのおいさつ、また、西日本研修センターでは訓練生紹介から始まり、“心技体”を念頭に置き研修に臨んで欲しいという所長あいさつ、ご来賓あいさつ、訓練生宣誓など厳粛な始業式となり、訓練生はかなり緊張した面持ちでしたが、傾聴する姿勢から熱心さが伝わってきました。

訓練の進捗（時の経過）とともに、基礎技術の習得に加え訓練生同士や講師とのコミュニケーションによる“絆”が生まれてきたように感じます。

また、東日本研修センターの入寮者は、寮生活を通じて新入社員研修が単に勉強だけでなく、入寮者間の良いコミュニケーションの場になっていました。

研修では、各科共通にコンプライアンスを含めた社会人としての基礎的な内容から、現場ですぐに求めら

新入社員研修（基礎訓練）実施計画

基礎訓練科班名（日数）	24年4月	24年5月	24年6月	24年7月	24年8月
基礎訓練線路科（14日）	東①西① 東(北海道)	東②	西②	東③	
基礎訓練土木科（13日）		東①西①			
基礎訓練所内科（12日）		東①	東② 西①		
基礎訓練電力科（9日）				東①	
基礎訓練統合科（23日）		東①西①	東②		

凡例：○数字は回数を表す



写真1 基礎訓練線路科開講式  
(西日本研修)



写真2 ダミー人形での安全研修模様  
(東日本研修：北海道張出)



写真3 基礎訓練線路科実習模様  
(西日本研修)



写真4 基礎訓練土木科実習模様  
(西日本研修)



写真5 雪の屋根上での作業体験模様  
(東日本研修：北海道張出)



写真6 所内科：静電電圧測定実習模様  
(東日本研修)

れる専門的な基礎技術についての座学と、基礎訓練線路科ではケーブル接続実習やバケットからの落下模様、雪の屋根上作業体験など安全実習を行い、皆さん熱心に勉強していました。

#### 4. おわりに

新入社員研修では、今後の仕事のベースとなる通信設備の基礎知識、基本的作業方法、安全の基本など通信設備工事の基本を身につけていただきました。

職場に戻ってからは、研修を通じて得た基本的技術力を、自己研鑽や

先輩諸兄の指導のもと、「工事品質の向上 (Service Level Agreement)、施工技術の向上 (Skill Level Agreement)」を目指した情報通信ネットワーク構築のスペシャリストとして活躍されることを期待します。